

公共事業再評価調書

担当部/課名	青森市 浪岡振興部 都市整備課
--------	-----------------

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着手 (5年) <input type="radio"/> 長期間継続 (10年) <input type="radio"/> 再評価後 (5年) <input checked="" type="radio"/> その他 (長期間継続5年)
---------	---

I 事業概要

事業種別	道路整備事業	事業方法	<input checked="" type="radio"/> 国補助 <input type="radio"/> 県補助 <input type="radio"/> 市単独																																								
事業名	北中野地区融流雪溝整備事業	事業箇所	青森市浪岡北中野地内 外 ※位置図、計画図等を添付。																																								
採択年度	平成 30 年度 (用地着手 平成 年度 / 工事着手 令和 2 年度)																																										
終了予定年度	令和 10 年度																																										
事業目的	<p>○北中野地区を通る「1級市道 北中野細野線」は、青森市浪岡中央部に位置し、青森市浪岡南小学校への通学路及び地域住民の重要な生活路線であり、冬期間の積雪により道路交通機能の低下及び歩行者の安全性が問題とされている路線でもある。</p> <p>○当該事業は、融流雪溝の整備により、雪に強いまちづくりを推進し、道路交通の円滑化及び歩行者の通行の安全確保を図るものである。</p>																																										
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>当初計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 計画延長</td> <td>3,645 m</td> <td>3,645 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 融流雪溝寸法</td> <td>(幅)</td> <td>500・600・1000 mm</td> <td>500・600・1000 mm</td> </tr> <tr> <td>(深さ)</td> <td>500～1200 mm</td> <td>500～1200 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業量や総事業費の増減に係る説明等を記入。</p>			区 分	当初計画時	再評価時	増 減	① 計画延長	3,645 m	3,645 m	0 m	② 融流雪溝寸法	(幅)	500・600・1000 mm	500・600・1000 mm	(深さ)	500～1200 mm	500～1200 mm																									
	区 分	当初計画時	再評価時	増 減																																							
① 計画延長	3,645 m	3,645 m	0 m																																								
② 融流雪溝寸法	(幅)	500・600・1000 mm	500・600・1000 mm																																								
	(深さ)	500～1200 mm	500～1200 mm																																								
事業費	<p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>～令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>小計</th> <th>令和5年度～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○事業費</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>97 (a)</td> <td>431</td> <td>528 (e)</td> </tr> <tr> <td> うち①用地費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0 (b)</td> <td>0</td> <td>0 (f)</td> </tr> <tr> <td> ②工事費</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>56 (c)</td> <td>429</td> <td>485 (g)</td> </tr> <tr> <td> ③その他</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>41 (d)</td> <td>2</td> <td>43 (h)</td> </tr> </tbody> </table>				～令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	小計	令和5年度～	合計	○事業費	25	23	18	30	97 (a)	431	528 (e)	うち①用地費	0	0	0	0	0 (b)	0	0 (f)	②工事費	0	8	18	30	56 (c)	429	485 (g)	③その他	25	15	0	0	41 (d)	2	43 (h)
	～令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	小計	令和5年度～	合計																																				
○事業費	25	23	18	30	97 (a)	431	528 (e)																																				
うち①用地費	0	0	0	0	0 (b)	0	0 (f)																																				
②工事費	0	8	18	30	56 (c)	429	485 (g)																																				
③その他	25	15	0	0	41 (d)	2	43 (h)																																				

II 評価指標及び項目別評価

1 事業の進捗状況

事業の進捗状況	計画全体に対する進捗	
	○事業費割合	18.3 % [(a)/(e)]
	うち①用地費	0.0 % [(b)/(f)]
	②工事費	11.5 % [(c)/(g)]
③その他	94.6 % [(d)/(h)]	
説 明	<p>○本事業は、平成30年度に事業着手し、令和2年度より工事を行い、進捗率は事業費ベースで約18.3%となっている。</p> <p>○全体延長:約3.6kmのうち、令和4年度末時点で約434mの整備を行い、令和5年度は新たに約247mの整備を行っている。</p>	
問題点 解決見込み	○特になし	
事業効果 発現状況	<p>○現在はまだ供用されていない。</p> <p>○工事着手から10年以内の一部暫定供用開始をめざし、整備を進めている。</p>	

公共事業再評価調書

2 社会経済情勢の変化

必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○当該路線は通学路及び地域住民の重要な生活路線であるため、冬期間における道路交通機能及び歩行者の通行の安全を確保する必要がある。 ○地域住民が融流雪溝管理組合を設立し、自主的に管理することに同意を得ており、融流雪溝を地域の財産と捉え組合設立に意欲的である。
適時性	<ul style="list-style-type: none"> ○当該地区は冬期間の降積雪による道路交通機能及び歩行者通行の安全確保のため、地域住民からの融流雪溝の整備要望が多い地区である。 ○融流雪溝の利活用に必要となる利用管理組合の設立については、町内会より管理組合を組織し、自主的に管理・運営する旨の確約書が青森市長宛に提出されており、融流雪溝を地域の財産と捉え、組合設立に意欲的である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○冬期間における雪処理について、機械除排雪による取組だけでなく除雪の際の寄せ雪等を融流雪溝にて処理することにより十分な道路幅員が確保され、冬期間における歩行者等の通行の安全が確保されることが期待できる。

3 費用対効果の分析

費用便益比	区 分	主 な 項 目	
	費用項目(C) (現在価値)		① 事業費
		② 維持管理費	12 百万円
		③ 残存価値	△ 12 百万円
		④	百万円
		⑤	百万円
		総費用	487 百万円
便益項目(B) (現在価値)		① 積雪による空間の閉鎖状況の低減に伴う歩行者空間の増大	百万円
		② 調査対象地の住民の除排雪作業の人数・時間・費用の低減	433 百万円
		③ 除排雪による交通移動時間(車両走行時間)の短縮	百万円
		④	百万円
		⑤	百万円
		総便益	433 百万円
		修正便益(B*α)	607 百万円
		費用便益比(B/C)	0.889
費用便益比(B/C)		修正費用便益比(B/C*α)	1.248

※地域修正係数(α): 1.404 <青森地方生活圏>
 ※費用対効果分析の根拠等
 (・「費用便益分析マニュアル」(令和4年2月、国土交通省 道路局 都市局)
 ・「治水経済調査マニュアル(案)」(令和2年4月) 国土交通省 水管理・国土保全局)
 ・「消流雪用水導入事業評価マニュアル(案)」(平成16年3月 国土交通省 東北地方整備局)
 ・「道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱」(令和2年3月、青森県県土整備部道路課))

4 コスト縮減や環境配慮などへの検討

コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ○融流雪溝の整備にあたり、埋戻し復旧時の路盤材・舗装材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。
--------	--

Ⅲ 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 計画変更して実施 <input type="radio"/> 事業中止 <input type="radio"/> 事業休止
評価理由等	<ul style="list-style-type: none"> ○融流雪溝の整備による事業効果、及び市民とともに進める雪処理との観点を総合的に勘案し、当該事業を着実に推進し、更なる事業効果の向上を図る必要がある。